2023年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年８月10日

上場会社名	株式会社ＬＡホールディングス		上場取引所　東 福
コード番号	2986	ＵＲＬ　https：//www.lahd.co.jp/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）脇田　栄一	
問合せ先責任者	（役職名）取締役	（氏名）栗原　一成	ＴＥＬ　03-5405-7350
四半期報告書提出予定日	2023年８月10日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2023年12月期第２四半期の連結業績（2023年１月１日～2023年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第２四半期	16,648	132.9	2,881	208.9	2,665	274.6	1,818	245.7
2022年12月期第２四半期	7,148	1.2	932	△38.4	711	△50.8	525	△44.6

（注）包括利益　2023年12月期第２四半期　1,858百万円（227.4%）　2022年12月期第２四半期　567百万円（△40.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第２四半期	310.92	305.14
2022年12月期第２四半期	98.40	94.91

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第２四半期	54,467	12,865	23.4
2022年12月期	50,669	11,417	22.3

（参考）自己資本　2023年12月期第２四半期　12,749百万円　2022年12月期　11,286百万円

（注）2023年12月期第１四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	－	0.00	－	200.00	200.00
2023年12月期	－	0.00			
2023年12月期（予想）			－	210.00	210.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2023年12月期の連結業績予想（2023年１月１日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	64.4	5,500	30.1	4,800	28.7	3,400	0.1	586.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 ー社 （社名）ー、除外 1社 （社名）株式会社ファンスタイルＨＤ

（注）詳細は、添付資料９ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（注）詳細は、添付資料９ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期２Ｑ	6,057,775株	2022年12月期	5,794,275株
② 期末自己株式数	2023年12月期２Ｑ	39株	2022年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期２Ｑ	5,848,353株	2022年12月期２Ｑ	5,344,891株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動） …… 9
（会計方針の変更） …… 9
（セグメント情報等） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

2022年12月30日に行われた株式会社ファンスタイルＨＤとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、第１四半期連結会計期間に確定しております。当該暫定的な会計処理の確定に伴い、当第２四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の配分の見直しが反映されており、前連結会計年度末との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額を用いております。

当第２四半期連結累計期間における経営成績は、売上高16,648百万円（前年同四半期比132.9％増）、営業利益2,881百万円（前年同四半期比208.9％増）、経常利益2,665百万円（前年同四半期比274.6％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,818百万円（前年同四半期比245.7％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

セグメント別売上高の概況

セグメント	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年１月１日 至　2022年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年６月30日）	構成比	前年同 四半期比
	千円	千円	％	％
不動産販売事業	6,697,648	16,124,376	96.8	140.7
（新築不動産販売部門）	(4,850,751)	(7,631,350)	45.8	57.3
（再生不動産販売部門）	(1,846,896)	(8,493,026)	51.0	359.9
不動産賃貸事業部門	423,307	502,317	3.1	18.7
その他	27,750	22,273	0.1	△19.7
合計	7,148,705	16,648,968	100.0	132.9

（注）セグメント間の内部売上は除いております。

①　新築不動産販売部門

当第２四半期連結累計期間の新築不動産販売部門の売上高は、土地企画販売３件の売却、収益不動産開発のオフィスビル「ＴＨＥ　ＥＤＧＥ」（東京都 渋谷区）の販売及び新築分譲マンション「ラ・アトレレジデンス姪浜」（福岡県 福岡市）が竣工し、引渡しが順調に進捗したことなどにより、売上高7,631百万円（前年同四半期比57.3％増）、セグメント利益2,142百万円（前年同四半期比122.1％増）となりました。

②　再生不動産販売部門

当第２四半期連結累計期間の再生不動産販売部門の売上高は、主力である戸別リノベーションマンション販売において「プレミアム・リノベーション」シリーズの販売が好調に推移したことに加え、インベストメントプロジェクト業務において、土地建物（東京都 渋谷区）などの販売が完了したことなどにより、売上高8,493百万円（前年同四半期比359.9％増）、セグメント利益1,114百万円（前年同四半期比926.1％増）となりました。

③　不動産賃貸事業部門

当第２四半期連結累計期間の不動産賃貸事業部門の売上高は、ヘルスケア施設の賃貸資産が増加したことなどにより、売上高502百万円（前年同四半期比18.7％増）、セグメント利益は206百万円（前年同四半期比49.1％増）となりました。

（注）セグメント利益とは、各セグメントの売上総利益から販売費用及び営業外費用を差し引いたものであります。

（２）財政状態に関する説明

①　資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ3,797百万円増加し、54,467百万円となりました。これは、開発物件５棟が竣工し販売用不動産へ振替えたことなどにより仕掛販売用不動産が1,509百万円減少した一方、現金及び預金が767百万円、事業用の不動産仕入及び仕掛販売用不動産からの振替えにより販売用不動産が5,380百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

また、当第２四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ2,349百万円増加し、41,601百万円

となりました。これは、事業用の不動産仕入及び開発用地取得などに係る資金調達により短期借入金が256百万円、長期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む）が2,096百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ1,448百万円増加し、12,865百万円となりました。これは、配当の実施に伴い資本剰余金が1,158百万円減少した一方、新株予約権の行使により資本金が381百万円及び資本剰余金が381百万円それぞれ増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益1,818百万円を計上したことなどによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ686百万円増加し、10,169百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

ａ．営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,673百万円、棚卸資産の増加3,433百万円、法人税等の支払1,006百万円等により1,324百万円の資金支出（前年同四半期は3,773百万円の資金支出）となりました。

ｂ．投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出113百万円、投資有価証券の売却による収入146百万円等により15百万円の資金獲得（前年同四半期は1,228百万円の資金支出）となりました。

ｃ．財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少1,506百万円、長期借入れによる収入13,893百万円、長期借入金の返済による支出10,034百万円、配当金の支払1,135百万円等により1,962百万円の資金獲得（前年同四半期は3,519百万円の資金獲得）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年２月14日付けの「2022年12月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した数値からの変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2022年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （2023年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,482,711	10,250,192
売掛金	4,730	388
販売用不動産	12,495,968	17,875,979
仕掛販売用不動産	16,343,214	14,834,051
その他	991,851	900,759
貸倒引当金	△1,507	△900
流動資産合計	39,316,970	43,860,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,651,472	5,434,039
土地	4,622,908	4,349,105
その他（純額）	94,179	106,122
有形固定資産合計	10,368,560	9,889,267
無形固定資産	39,913	39,463
投資その他の資産	935,212	671,147
固定資産合計	11,343,686	10,599,878
繰延資産	8,580	6,781
資産合計	50,669,236	54,467,132

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2022年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （2023年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	547,830	1,100,783
短期借入金	4,197,600	4,454,300
１年内償還予定の社債	10,000	10,000
１年内返済予定の長期借入金	8,948,282	8,828,991
未払法人税等	1,082,636	859,532
賞与引当金	54,650	－
役員賞与引当金	22,200	－
その他	1,205,329	1,012,735
流動負債合計	16,068,527	16,266,343
固定負債		
社債	920,000	965,000
長期借入金	21,321,997	23,537,304
資産除去債務	112,909	113,212
その他	828,152	719,499
固定負債合計	23,183,060	25,335,016
負債合計	39,251,588	41,601,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,926	995,883
資本剰余金	1,645,001	1,256,780
利益剰余金	9,043,265	10,472,932
自己株式	－	△146
株主資本合計	11,302,193	12,725,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,064	△20,804
繰延ヘッジ損益	△6,955	△6,209
為替換算調整勘定	18,148	51,334
その他の包括利益累計額合計	△15,870	24,320
新株予約権	131,324	116,003
純資産合計	11,417,648	12,865,772
負債純資産合計	50,669,236	54,467,132

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年１月１日 至　2022年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年６月30日）
売上高	7,148,705	16,648,968
売上原価	5,412,601	12,238,799
売上総利益	1,736,104	4,410,169
販売費及び一般管理費	803,445	1,528,957
営業利益	932,658	2,881,212
営業外収益		
受取利息	1,208	461
受取配当金	1,975	4,486
為替差益	112,896	24,413
保険返戻金	2,338	116,456
その他	25,734	35,968
営業外収益合計	144,153	181,785
営業外費用		
支払利息	191,613	265,916
支払手数料	96,044	112,955
社債発行費等償却	2,268	2,662
その他	75,261	15,752
営業外費用合計	365,188	397,287
経常利益	711,624	2,665,710
特別利益		
投資有価証券売却益	－	7,475
特別利益合計	－	7,475
税金等調整前四半期純利益	711,624	2,673,186
法人税、住民税及び事業税	157,268	836,067
法人税等調整額	28,443	18,774
法人税等合計	185,711	854,842
四半期純利益	525,913	1,818,344
親会社株主に帰属する四半期純利益	525,913	1,818,344

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年１月１日 至　2022年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年６月30日）
四半期純利益	525,913	1,818,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,495	6,259
繰延ヘッジ損益	1,198	745
為替換算調整勘定	34,089	33,185
その他の包括利益合計	41,782	40,190
四半期包括利益	567,695	1,858,534
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,695	1,858,534
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年１月１日 至　2022年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年１月１日 至　2023年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	711,624	2,673,186
減価償却費	121,173	119,266
貸倒引当金の増減額（△は減少）	－	△607
賞与引当金の増減額（△は減少）	△55,935	△54,650
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△10,450	△22,200
受取利息及び受取配当金	△3,184	△4,947
支払利息及び社債利息	191,613	265,916
支払手数料	96,044	112,955
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△7,475
売上債権の増減額（△は増加）	1,084	4,341
前渡金の増減額（△は増加）	187,492	91,648
棚卸資産の増減額（△は増加）	△5,062,005	△3,433,367
仕入債務の増減額（△は減少）	103,048	552,953
前受金の増減額（△は減少）	275,581	59,418
未収又は未払消費税等の増減額	△21,952	79,979
その他	735,209	△387,984
小計	△2,730,655	48,434
利息及び配当金の受取額	3,184	4,947
利息の支払額	△208,657	△287,171
支払手数料の支払額	△63,821	△84,169
法人税等の支払額	△773,373	△1,006,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,773,324	△1,324,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△19,800
定期預金の払戻による収入	253,231	7,200
投資有価証券の取得による支出	△63,945	△113,406
投資有価証券の売却による収入	－	146,947
有形固定資産の取得による支出	△1,416,436	△75,968
貸付金の回収による収入	－	72,244
建設協力金の支払による支出	△1,749	△1,749
その他	86	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,228,813	15,464
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	825,600	△1,506,800
長期借入れによる収入	9,097,000	13,893,570
長期借入金の返済による支出	△5,189,552	△10,034,054
社債の発行による収入	－	50,000
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	－	700,063
自己株式の取得による支出	△499,895	△146
配当金の支払額	△708,933	△1,135,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,519,218	1,962,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,089	33,185
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,448,830	686,676
現金及び現金同等物の期首残高	6,561,734	9,482,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,112,904	10,169,388

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

第１四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった株式会社ファンスタイルＨＤは、同じく当社の連結子会社である株式会社ファンスタイルを吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号　2021年６月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第１四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-２項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　2022年１月１日　至　2022年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	新築不動産販売部門	再生不動産販売部門	不動産賃貸事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,850,751	1,846,896	423,307	7,120,955	27,750	7,148,705
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	53,805	53,805
計	4,850,751	1,846,896	423,307	7,120,955	81,555	7,202,511
セグメント利益	964,916	108,566	138,734	1,212,217	81,555	1,293,773

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり仲介事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,212,217
「その他」の区分の利益	81,555
セグメント間取引消去	△53,805
全社費用（注）	△528,343
四半期連結損益計算書の経常利益	711,624

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　2023年１月１日　至　2023年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	新築不動産販売部門	再生不動産販売部門	不動産賃貸事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,631,350	8,493,026	502,317	16,626,694	22,273	16,648,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	170,595	170,595
計	7,631,350	8,493,026	502,317	16,626,694	192,869	16,819,563
セグメント利益	2,142,771	1,114,010	206,808	3,463,590	191,078	3,654,668

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり仲介事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	3,463,590
「その他」の区分の利益	191,078
セグメント間取引消去	△170,595
全社費用（注）	△818,362
四半期連結損益計算書の経常利益	2,665,710

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。